

これからの物流を考える

日 時：2019年9月13日（金）13:15～16:40

会 場：つくば国際会議場 中ホール300

（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

参加費：会員：無料 会員外：1,000円

開会挨拶 13:15～13:20

フード・フォーラム・つくば 幹事長
農研機構 食品研究部門長

（質疑応答含む）

講演1. 13:20～14:20

『 国産野菜の新たなサプライチェーン構築と FSL 物流の取組み 』

有井 雅幸 氏（デリカフーズ株式会社 東京事業所 品質管理室長）

野菜に対する顧客ニーズは「安全・安心、鮮度・おいしさ、栄養価・健康機能」ですが、生産から流通・加工、調理・消費までのフードチェーン全体で連携することが重要です。野菜品質評価指標デリカスコアの基づき、国産野菜の優位性を構築する新たなサプライチェーンとFSL物流の取組みを紹介します。

講演2. 14:20～15:20

『 食品メーカーによる物流関連の連携 「F-LINEプロジェクト」と「SBM会議」 』

平 智章氏（味の素株式会社 物流企画部 スタッフグループ長）

日々深刻化する食品物流の諸課題に対し味の素株式会社は2015年2月食品企業物流プラットフォームを立ち上げ、以降、様々な検討、取り組みを実践して来ました。今回はこれまでの取り組みと現状についてご紹介させていただきます。

休憩 15:20～15:40

講演3. 15:40～16:40

『 ロボットが物流現場の労働力を代替する時代、 「AutoStore」のご紹介 』

山下 佳一氏（株式会社 オカムラ 物流システム事業本部執行役員
マーケティング部 部長）

オカムラが2014年に国内販売を開始したノルウェー生まれのロボット自動倉庫「AutoStore」の特長や導入事例をご紹介します。

交流会 17:00～18:30 CASA つくばエポカル店

（茨城県つくば市竹園2-20-1 オークラフロンティアホテルつくばエポカル1階）

（交流会費：会員：3,000円 会員外：4,000円）